

倫理問題

(令和 3 年度 国際信州学院大学法学部)

【注意事項】

1. 試験時間は 100 分である。
2. 試験開始の合図まで、この問題冊子を開いてはいけない。ただし、表紙はあらかじめよく読んでおくこと。
3. 問題冊子に落丁、乱丁、印刷不鮮明な箇所等があった場合および解答用紙が不足している場合は、手をあげて監督者に申し出ること。
4. 試験開始後、解答用紙の所定の欄に、受験番号と氏名を記入すること。
5. 回答は必ず解答用紙の指定された箇所に記入すること。解答用紙の裏面に記入してはいけない。
6. 解答用紙を切り離したり、持ち帰ってはいけない。
7. 問題冊子の中の白紙部分は下書き等に使用してよい。
8. 試験終了時刻まで退室を認めない。試験中の気分不快やトイレ等、やむを得ない場合には、手をあげて監督者を呼び指示に従うこと。
9. 試験終了後は問題冊子を持ち帰ること。

1

牛糞は一般的に忌避の対象であるが、本学においては顕著な功績を挙げた者への賞品となるなど栄誉あるものとされる。この事実について、文化相対主義および道徳相対主義（moral relativism）の双方を参照しながら 1000 字程度で論じなさい。

2

以下に示す語句の中から 3 つを選び、その要旨をそれぞれ説明しなさい。

- i. 本地垂迹説 ii. 公共性（アーレント） iii. 自我 iv. 梵我一如
v. サティヤーグラハ vi. 中間者

3 情報公開請求権に関する次の議論を読み、これについて法学の具体的な学説を参照しながら論じなさい。

この問題は、著作権の都合により掲載ができません。

